

モータ制御 / 無線通信アプリケーションに最適

J-Link モニターモードデバッグ



J-Link PLUS / ULTRA+ / PRO

J-Trace PRO シリーズでご利用頂けます。

J-Link BASE, J-Link LITE などではご利用頂けません。



J-Link モニタモードデバッグを使用すると、実行優先順位の高いコードを通常通り実行しながら、優先順位の低いアプリケーションを停止・実行することができます。これにより、開発者に新しい手法のアプリケーションデバッグ手法を提供します。通信タスクを維持したまま、割り込み、イベント、その他の信号を任意でオン/オフできるため、従来の手法ではデバッグが困難だった多様なシステム状況を開発者は把握し、デバッグする事ができます。

アプリケーション適用例

■ PWM を利用したモータ制御アプリケーション

モニターモードデバッグを利用することにより、PWM 制御を続けながら、アプリケーションデバッグする事が可能です。

■ Bluetooth 通信アプリケーション

モニターモードデバッグを利用することにより、Bluetooth を「keep alive」実行続けながら、デバッグ処理を行う事ができます。

モニタモードデバッグライブラリは割り込みサービスルーチンで、ユーザアプリケーションと同等またはそれ以上の実行優先順位を持ちますが、妨げられることなく実行したいコードよりも低くなります。CPU がデバッガから停止コマンドを受け取ると、停止する代わりにモニターモードデバッグライブラリの ISR を実行します。この間、実行優先順位の高いコード（スタック、ドライバなど）はモニターモードデバッグライブラリの ISR を優先使用できます。



サンプルプロジェクトを使ってみる

SEGGER Embedded Studio 用にサンプルプロジェクトが用意されております。

SEGGER Embedded Studio ダウンロード：<https://www.segger.com/downloads/embedded-studio/>

J-Link モニターモードデバッグサンプルダウンロード：[こちらをクリック](#)

株式会社エンビテック www.embitek.co.jp

〒130-0021 東京都墨田区線 4-8-8 中井ビル 4F

TEL: 03-6240-2655 FAX: 03-6240-2656

mail: sales@embitek.co.jp

「EmbitEK」, EmbitEK ロゴは株式会社エンビテックの登録商標です。その他、本資料に記載している製品、会社名は各社の商標または登録商標です。

本資料に記載している情報は予告なく変更する場合があります。